

令和7年度学校評価結果の考察

～結果の分析並びに今後の課題と対応策～

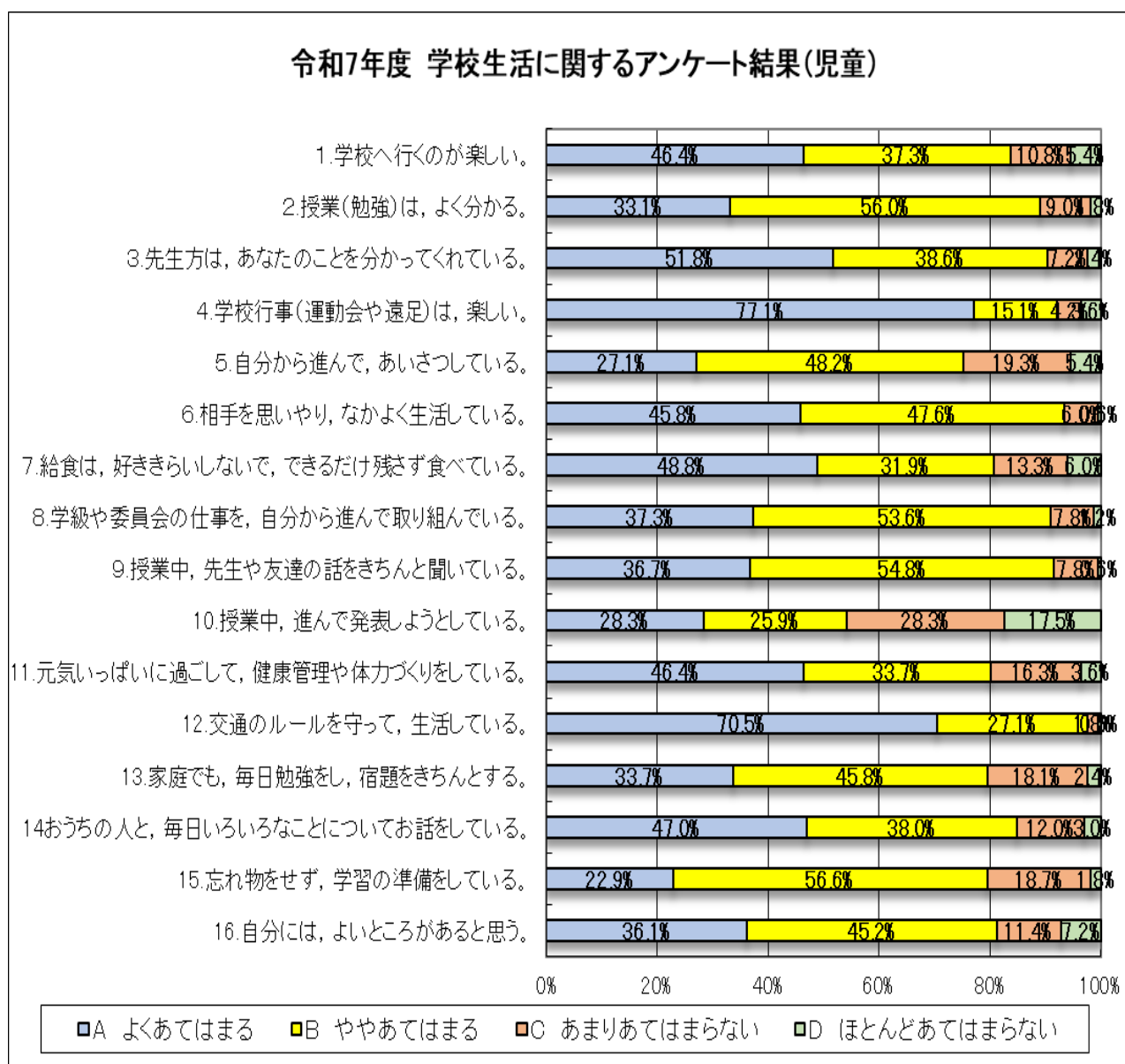
徳島市沖洲小学校

児童用、保護者用アンケートの結果について考察し、本校の課題を分析するとともに、来年度に向けての具体的な方策を考える。

Ⅰ 児童アンケートから

児童アンケートは4段階（Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dほとんどあてはまらない）で回答してもらっている。ここでは主に、A、Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C、Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【児童アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点1	学校へ行くのが楽しい。	(83.7)
観点2	授業(勉強)は、よく分かる。	(89.2)
観点3	先生方は、あなたのことを分かってくれている。	(90.4)
観点4	学校行事(運動会や遠足)は、楽しい。	(92.2)
観点6	相手を思いやり、なかよく生活している。	(93.4)
観点7	給食は、好ききらいしないで、できるだけ残さず食べている。	(80.7)
観点8	学級や委員会の仕事を、自分から進んで取り組んでいる。	(91.0)
観点9	授業中、先生や友達の話きちんと聞いている。	(81.3)
観点11	元気いっぱい過ごして、健康管理や体力づくりをしている。	(80.1)
観点12	交通のルールを守って、生活している。	(97.6)
観点14	おうちの人と、毎日いろいろなことについてお話をしている。	(84.9)
観点16	自分には、よいところがあると思う。	(81.3)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点10	授業中、進んで発表しようとしている。	(45.8)
------	--------------------	--------

(3) 考察

ほぼ達成と捉える項目は、12項目あった。昨年度よりも1項目減ったものの、特に、観点12【交通安全】については、昨年度よりも肯定的な回答が12.6%も増えている。これは、各学級での継続した安全指導の取組や、正門前や各地区での毎朝の交通立哨の成果であると考えられる。また、昨年度の課題であった観点14【家族とのコミュニケーション】が、ほぼ達成と捉える項目になった。忙しい中でも、家族で話をする時間をとってくださっている保護者の皆様のおかげである。

課題としてあげられている項目は、昨年度と同様に1項目だった。しかし、昨年度はほぼ達成であった観点10【学習意欲】が課題に転じてしまった。これは、5・6年を対象であることから、学年カラーの影響を受けやすいことが考えられる。

(4) 課題と対策

【課題①】授業中に、進んで発表できる児童を育成する。

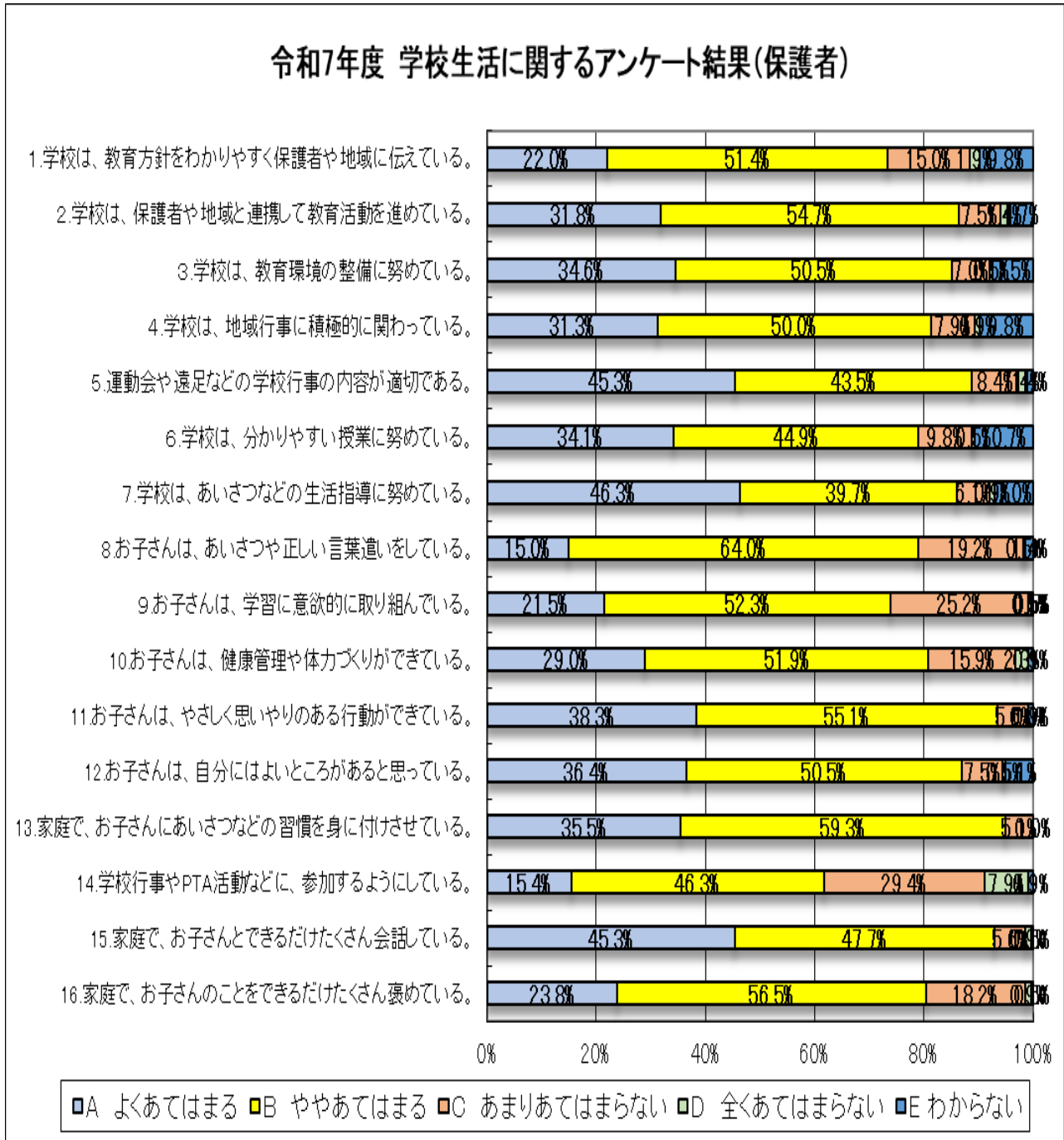
[対策]

- ・ 発表しやすい学級の雰囲気づくりをする。
- ・ ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、児童が自信をもって発表できる場を設定する。

2 保護者アンケートから

保護者アンケートは5段階（Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない D全くあてはまらない Eわからない）で回答してもらっている。ここでは主に、A、Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C、Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【保護者アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点2	学校は、保護者や地域と連携して教育活動を進めている。	(86.4)
観点3	学校は、教育環境の整備に努めている。	(85.0)

観点4	学校は、地域行事に積極的に関わっている。	(81.3)
観点5	運動会や遠足などの学校行事の内容が適切である。	(88.8)
観点7	学校は、あいさつなどの生活指導に努めている。	(86.0)
観点10	お子さんは、健康管理や体力づくりができています。	(80.8)
観点11	お子さんは、やさしく思いやりのある態度ができています。	(93.5)
観点12	お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。	(86.9)
観点13	家庭で、お子さんにあいさつなどの習慣を身に付けさせている。	(94.9)
観点15	家庭で、お子さんとできるだけたくさん会話している。	(93.0)
観点16	家庭で、お子さんのことをできるだけたくさん褒めている。	(80.4)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点9	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。	(25.7)
観点14	学校行事やPTA活動などに、参加するようにしている。	(37.4)

(3) 考察

ほぼ達成と捉える項目は、昨年度より1項目増えて、11項目あった。増えた項目は観点10【健康管理や体力づくり】で、理由としては休み時間の外遊びの奨励、体操発表会をはじめとする校外の体育行事への参加呼びかけ、保健だよりなどによる健康に関する情報提供が考えられる。

課題と捉える項目については、昨年度と項目数も観点も同じ2項目である。観点9【学習意欲】は、児童アンケート結果からも同様の様子が見えかねるので、保護者との連携が急務である。また、観点14【PTA活動】の項目は、昨年の32.1%から37.4%と厳しい結果となった。

(4) 課題と対策

【課題①】家庭学習の充実を図る。

[対策]

- ・ 保護者に学校の学習に関心をもってもらったり、学習内容を知ってもらったりできるように、学年だよりやホームページで啓発をする。
- ・ 自主勉強のやり方などを見直したり、お手本となる自主勉ノートを全体に紹介したりすることで、子どもたちの学習意欲を高める。

【課題②】学校行事やPTA活動の充実を図る。

[対策]

- ・ 保護者が興味・関心をもてるような活動を考える。
- ・ 保護者が参加しやすい環境(曜日や時間帯など)づくりに努め、できるだけ多くの保護者が参加できるようにする。

4 全体考察 ～今後に向けて～

学校評価アンケートの結果から、ほとんどの子どもたちが意欲的かつ充実した学校生活を過ごしていることがうかがえる。これは、学習指導や生徒指導など様々な場面で、職員全体で共通理解を図りながら教育活動に取り組んでいるからだと考える。

今後も現状に満足することなく、子どもたちにとってよりよい学校づくりをめざしていく。そのために、様々な機会を通して、保護者や地域に情報発信をし、信頼関係を築きたい。そして、三者が協力しながら子どもたちを育てていく体制を整えていきたい。